

形 式：皮膚がん

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	Futility of fluorodeoxyglucose F 18 positron emission tomography in initial evaluation of patients with T2 to T4 melanoma.	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し （ 1 ）	
	ガイドライン上での目次名称	MMCQ9-7	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 （ I V ）	
	Pubmed ID	16549694	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Arch Surg.	
	雑誌 ID		
	巻	141	
	号	3	
	ページ	284-8	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 （ 1 ）	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 （ 2 ）	
	発行年月	2006 Mar	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Clark PB	Wake Forest University Health Sciences
その他著者 1		Soo V	同上
その他著者 2		Kraas J	同上
その他著者 3		Shen P	同上
その他著者 4		Levine EA	同上
その他著者 5			
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

一次研究の 8 項目	目的	T2 から T4 の患者における全身 PET の有用性を評価する	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究	
	セッティング	Wake Forest 大学	
	対象者	1998 年 12 月から 2004 年 7 月までにセンチネルリンパ節生検を受けた 178 人のうち PET を受けた 64 人。	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず （ 22 ）	
	介入（要因曝露）	全身 PET	
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	センチネルリンパ節転移有り	1.主要 2.副次 3.その他（ 1 ）
	2		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	3		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	4		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	5		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	6		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	7		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	8		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	9		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	10		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	主な結果	64 人中遠隔転移を発見された者はいなかった。64 人中 60 人に異常なく 2 人は偽陽性で、2 人にリンパ節転移が見つかった。 すなわち、センチネルリンパ節生検陽性の 19 人中、PET 所見でも転移が見られたのは 2 人（11%）であった。 PET の結果によって治療が変更となった患者はいなかった。	
	結論	厚さ 1mm 以上で転移の無い患者において、潜在性の転移病巣を探す目的で PET を行うことの有用性は無い。術前検査から PET を削除することが推奨される。	
	備考		
レビューワーコメント	レビューワー氏名	古賀弘志	
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ I V ）	